

で、他区に比べて診断を受ける機会も多いと考えている。今後、設計費の一部助成も検討し、さらに促進していきたいと考えている。

ヘリコプター臨時離着陸場

伊東議員 中野区役所一帯は広域避難場所であり、輸送上輸送が困難な場合の救援物資や人員の緊急空輸を考慮し、新たに設けられる防災公園を、ヘリコプター臨時離着陸場候補地とし、輸送拠点との連携を図るべきではないか。

答 警察大学校等跡地は、広域避難場所の一部でもあり、今後東京都と協議し、地域防災計画の修正の中で、ヘリコプター臨時離着陸場の候補地として検討していきたい。

みどり豊かな防災公園

やながわ議員 20年度の海洋研究所の移転が決定したことで、防災公園の実現に向けて踏み出すことになる。東大附属南側敷地には貴重な樹木がたくさん残っている。震災時の避難場所として、日頃は地域の憩いの場所として、みどりの保存に配慮した計画づくりが必要である。また、海洋研究所の移転後、早急に用地を取得して防災公園の整備を図るべきと考えるがどうか。

答 南中野の防災まちづくりは、地域の協力のもと長年にわたり進めてきた事業である。防災公園整備の客観的條件が整いつつある今、樹木の保存を十分に念頭においた公園建設に全力を尽くしたい。

子ども・家庭

地域子ども教室

藤本議員 地域子ども教室事業は、文科省が3カ年の事業として、全国で実施してきたが、区も3年間取り組んできたが、その評価と課題は。

答 多くの子どもたちの活動の機会が設けられ、地域の協力も得られ、家庭や学校で習得でき、地域の交流の場となったと評価している。課題は、学校、家庭の参加・協力をさらに進め、区内全域で展開していくことと考える。

放課後子どもプラン

藤本議員 地域子ども教室事業の委託費は、16、18年度はそれぞれ約900万円、約1500万円、約2千万円だった。これを受け継ぐ放課後子どもプランへの区の持ち出しは270万円、補助金を含めた総事業費は800万円と3分の1だ。区はもっと熱意を持って取り組むべきでは。

答 放課後子どもプランは、地域子ども教室を継承する事業だが、積算の根拠や事業の組み立てが従来とは違っている。条件を整備して、新事業として再構築したい。

少子化対策の施策の方向

篠議員 少子化が進む中で、区が行っている施策は、現状肯定的な対症療法である。普通に結婚するのが当然という方向の施策展開に向けて、所

管部だけに任せず、区長や副区長から発信すべきでは。

答 時代が大きく変わる中、今後を見据えた区政運営が必要である。区長からの発信を基本に、組織全体を一定の理念や方向性に基づいて動かせるよう、副区長がしっかりと機能できるようにしたい。

保健・福祉

認知症高齢者の包括ケア

はっとり議員 健康都市・中野の実現に向け、認知症高齢者に対し、包括ケアを推進しているが、関係機関連携の場である地域ケア会議の現状は。また、今後の地域の高齢者見守り事業を、どう考えているのか。

答 地域ごとのケース支援会議、主治医も含めたサービス担当者会議、民生・児童委員なども含む地域懇談会を開催している。今後も(仮称)総合公共サービスセンターの整備とあわせ、地域のネットワークを構築していきたい。

健康遊具のある公園づくり

やながわ議員 健康遊具のある公園整備が19年度予算に盛り込まれたが、高齢者が健康公園に立ち寄り、体を動かせるように、全区的に配置をして取り組むべきではないか。

答 公園に健康遊具を設置し、妙正寺川沿いにウォーキングコースを整備する。また、運動指導員を配置して、健康維持や介護予防に資する取り

都市整備

西武新宿線連続立体交差

伊東議員 西武新宿線連続立体交差事業に関する区内の都市計画道路4路線のうち、区所管道路であるもみじ山通りは第3次事業化計画優先整備路線に入っていない。もみじ山通りは現道のない部分もあり、西武新宿線の立体化ス

ケジュールも視野に入れ、慎重かつ段階的に事業を進めることが必要と考えるが、整備方針はどうなっているか。

答 都市計画道路は、まちづくりが具体化した機会をとらえ、順次事業化を図ることとなっている。もみじ山通りの連続立体化事業の採択に向け、早稲田通り以北の事業化も視野に入れながら地域の皆さんと勉強会を進めている。

警察大学校等跡地整備

大泉議員 警大等跡地の道路、公園などの都市整備にかかる財源の見直しは、区の一

般財源からの持ち出し分を含めてどのように考えているか。

答 道路用地取得は国、都支出金と起債によって賄う。起債償還額は、財政調整交付金で需要額算定されるため、一般財源の持ち出しはほとんどないと考えている。また、

都市計画マスタープラン

大泉議員 都市計画マスタープランの改定作業はどのよう

に進めていくのか。また、今後改定を予定しているみどりの基本計画と第3次住宅マスタープランもリンクさせるべきという意見もあるが、どのように考えているのか。

答 19年度は改定に向けた見直し方針の策定などを行い、20年度は素案を策定し、改定案をまとめていきたい。また、三つの計画案の改定作業は個別に行うが、できる限り整合性を図って進めていく。

東中野のまちづくり

来住議員 東中野では、2棟の超高層マンション建設問題、東中野駅の線路上空活用

東中野駅周辺のまちづくりなどが進行している。いずれも予算措置、開発許可などにより、区が関与しているが、JR上空活用については、JRに負担を求めるべきでは。

答 東中野駅の線路上空活用に際し、区とJRは共同で調査設計を行っている。来年度は、区が基本設計経費を計上しているが、事業規模を確定した上で、JRとの負担割合を決定する予定である。

教育

体力向上プログラム

藤本議員 教育委員会は、体力向上プログラムとして、「フ

ラグフットボール」という新競技を全校で行うこととし、各学校に伝えたところ、

O2などの排ガス測定数値をリアルタイムで表示すること

を求めている。区は首都高速道路(株)に対し、要望をすればいいと考えている。

答 換気塔から排出されるガスが周辺に与える影響は、小さいと聞いている。測定結果の平均値は、公表されることとなっており、即時表示を要請する考えはない。

上鷺宮地区の地区計画

篠議員 上鷺宮地域の地区計画で、道路整備のための私有地の提供については、地域の理解を得られていない。現在の提案が難しければ、対象エリアの限定など、他の手法

を考案しなければ先に進まないと考えられるが、どうか。

答 区画整理事業は、私有財産を提供しあって公共的な価値を生み出すことが前提であり、区民が納得し、自らの問題として解決することが重要だ。しっかりとしたまちづくりの検討を、区民とともに進めていきたい。

学校は困惑していると聞く。また、その報告が文教委員会にもない。もっと柔軟に考え、

競技の選択肢を広げて取り組むべきだと思うがどうか。

答 体力向上プログラムを

作成中で、各学校が作成するプログラムのうちにこれまで学校が取り組んできた運動に加え、学校の実態に合わせ、フ

ラグフットボールを位置付けていきたい。今後文教委員会、PTAにも話をしていく。

教科書採択

吉原議員 歴史教科書を例にとっても、いろいろな教科書が出版されている。地方分

権により教科書の採択権が各区市町村教育委員会に移った

こともあり、区教育委員会として、使用している教科書についての児童・生徒の意見、教師の評価などを把握するしくみを検討してはどうか。

答 教科書の採択にあたっては、採択の年に、区で独自に子どもたちの意見や教師の

評価を得ている。今後も、教科書についての意見を聞くようにしていく。

愛国心教育

吉原議員 教育基本法改正に伴い、愛国心を育むという観点から学習指導要領が改定

された場合には、それを教える教師が変わらなければ意味がない。区立学校の教師を指導育成する立場として、愛国心を育むことについて、今後、どのように指導していくのか。

答 新たな教育基本法に基づき、新たな学習指導要領がつくられると聞いているので、その趣旨を踏まえた指導を行っていく。



中野区議会定例会(一般質問)をテレビ放送しています。

中野区議会では、JCN中野(シティテレビ中野)で、議会のテレビ放送を行っています。内容は、各議員の一般質問などの録画放送です。放送予定などは、決まり次第、中野区議会ホームページに掲載します。ぜひご覧ください。【問合せ】区議会事務局 (電話)3228-5585